

議 事 録

件名	第26回 児童虐待防止対策委員会
日時	令和3年3月12日（金）～令和3年3月26日（金）【書面協議】
参加者	吉岡委員長、佐田副委員長、早川委員、足立委員、重永委員、下川委員、若林委員、刈茅委員、野口委員、川上委員、清水委員、深堀委員、寺松委員、薄委員
次第	<p>1. 報告事項 (1) 今後の主なスケジュールについて (2) セーフコミュニティ活動推進事業所登録制度について</p> <p>2. 協議事項 (1) セーフコミュニティ児童虐待防止対策委員会の成果指標について (2) 2020(令和2)年度実績及び2021(令和3)年度方針(案)について (3) セーフコミュニティ実態調査及び市民意識調査について (4) その他</p>
事務局	<p>1. 報告事項</p> <p>(1) 今後の主なスケジュールについて 令和3年5月頃に合同対策委員会によるワークショップ(参加型会議)を予定しています。令和4・5年度は、再々認証の取得を目指すことを想定した主なスケジュール(予定)です。</p> <p>(2) セーフコミュニティ活動推進事業所登録制度について 資料のとおり</p>
事務局	<p>2. 協議事項</p> <p>(1) セーフコミュニティ児童虐待防止対策委員会の成果指標について 各取り組みの成果指標について、12月に一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構(JISC)代表理事の白石氏からご意見をいただいたため、見直しを行いたいと考えています。</p>
委員1	(2-③児童虐待防止対策事業の活動指標について) イベントや講習会は、今後の開催が難しい中で、参加者数の指標は見直すほうが良いのではないかと。
事務局	<p>現在、イベントや講習会の実施は難しい状況ですが、令和3年度、市では、子どもの権利等啓発事業として、小学校10校において、CAPプログラムを活用し、子ども自ら相談する力、SOSを発信する力の育成を図ることとしています。</p> <p>今後、このCAPプログラムの参加児童数を活動指標の参加者数に加えることを検討しています。</p>
委員2	(2-①新生児訪問事業の地域連携について) 各地域での子育てサロンを身近な相談窓口とし、関係機関との連携をはかる。ハイリスクを抱えた妊産婦を支援するために、地域(主任児童委員)と行政との情報の共有化や連携の必要性等。
事務局	子育てサロンや主任児童委員を身近な相談窓口とし、個別のケースに応じて、関係機関との連携をはかりたいと考えています。

委員 3	<p>(2-①新生児訪問事業の地域連携の中期成果指標について) 子育てに困難を感じている人のうち、「相談していない人の割合」でなく「相談している人の割合の増加」のほうが良いのではないかと。</p>
事務局	<p>同じような意味合いではありますが、「相談していない人」をなくすことが、児童虐待を防止することにつながると考えています。</p>
	<p>(2) 2020(令和2)年度実績及び2021(令和3)年度方針(案)について</p>
委員 1	<p>(2-③児童虐待防止対策事業について) 小学校で児童が使用するタブレット端末の活用等を検討してほしい。</p>
事務局	<p>令和3年度、市では、児童を対象とした相談方法・相談窓口等に関する動画を作成いたします。配信については、タブレット端末の活用について検討を行う予定としています。</p>
	<p>(3) セーフコミュニティ実態調査(案)について</p>
委員 2	<p>児童虐待防止について、小・中学校で行っている「いじめアンケート」のような、家庭内の様子等がわかる(子ども自身が素直に記入できる)アンケートはできないか。相談窓口で直接電話等できない子どもも多いのではないかと。</p>
事務局	<p>今回のセーフコミュニティ実態調査は、具体的施策の根拠やその成果指標等の最新データの収集を目的としています。相談窓口で直接相談できない子どもが多いという現状や課題については、引き続き対策を検討していく必要があると考えています。</p>
	<p>(4) その他</p>
委員 1	<p>訪問や子育てサロン事業等ができない時でも、代替のオンライン等の事業の検討や、孤立が深まる子育て世帯への対応も必要ではないかと。 また、「<u>コロナ禍</u>」という表記が人権的な視点で見直す動きがあるので、資料作成時に配慮が必要ではないかと。</p>
事務局	<p>子育て世帯の孤立を防ぐためにオンラインでできること、また子育て世帯の親が何を求めているのか等の意見を集め、対策委員会で検討できればと考えます。 また、「<u>コロナ禍</u>」という言葉は、一言で表現できるというメリットがある一方で、「<u>禍</u>」という言葉が悪い印象を与えてしまうというデメリットもあります。 資料の表記については、今後、正式名称等で表記します。</p>
委員 3	<p>会議資料5ページ目の取り組み項目と6ページ目以降の事業名を合わせることはできないかと。</p>
事務局	<p>確認不足でした。事業名を合わせます。</p>

委員 4	S C実態調査及び市民意識調査については、住民基本台帳からの無作為抽出郵送調査とありますが、市内全体で片寄りしないように、地域を平均的に調査が出来るようにしていただきたい。
事務局	事務局本部へ意見をあげます。
委員 6	必要かつ重要な取り込みである分中身の濃いものになりますが、少しずつでも市民の意識が高まり、安全安心な街づくりができるよう期待します。S C推進機構のアドバイスを仰ぎながら、具体的で効果的な対策が進むよう、微力ではありますがよろしくをお願いします。
事務局	皆様の日頃の活動があつてこそそのセーフコミュニティの取り組みです。児童虐待防止のため効果的な取り組みができるよう、今後ともご協力をよろしくをお願いします。